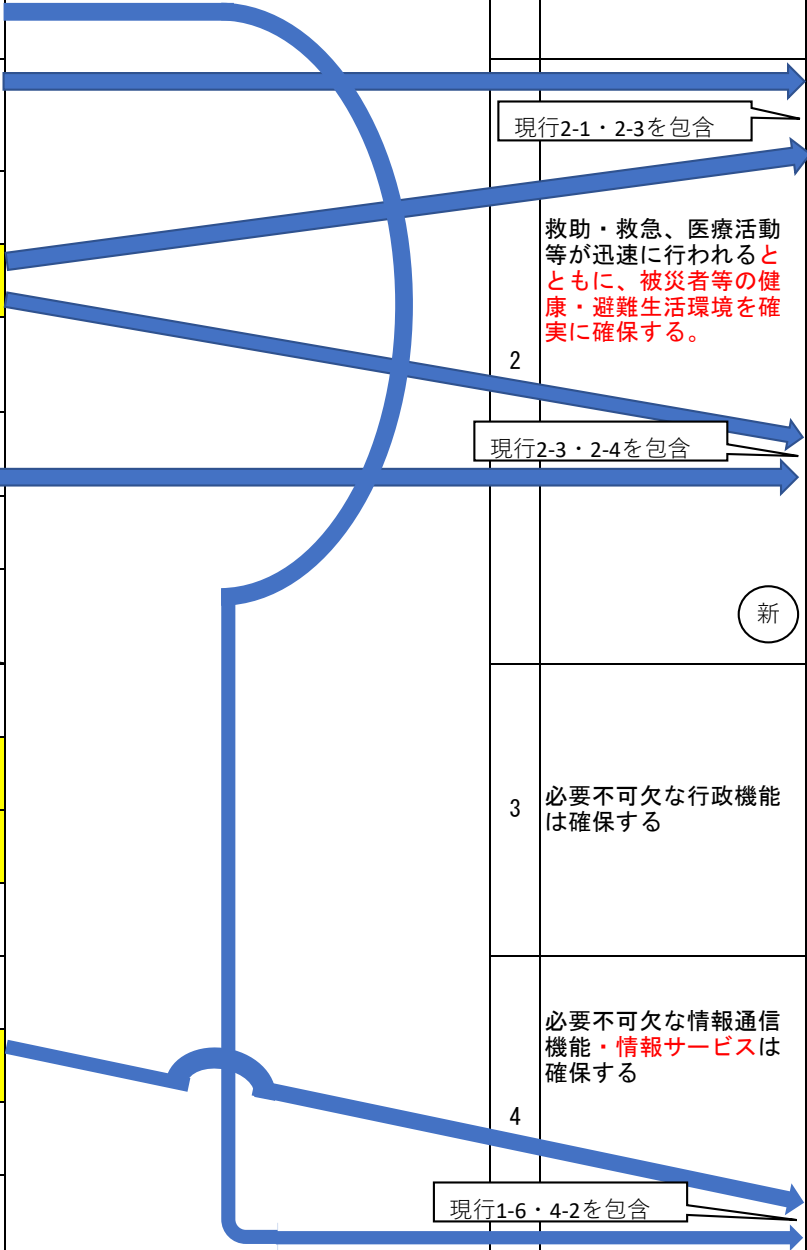


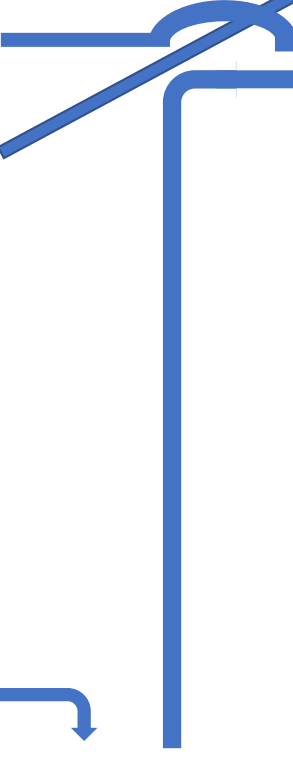
千葉市リスクシナリオの見直し案

事前に備えるべき目標		千葉市リスクシナリオ (H30.3) (網掛け部分は新リスクシナリオでは削除しています)
1	大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる	1-1 建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生
		1-2 不特定多数が集まる施設の倒壊・火災
		1-3 広域にわたる大規模津波等による多数の死者の発生
		1-4 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水
		1-5 大規模な土砂災害等による多数の死傷者の発生のみならず、後年度にわたり脆弱性が高まる事態
		1-6 情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生
2	大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる（それがなされない場合の必要な対応を含む）	2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止
		2-2 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足
		2-3 救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶
		2-4 想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者への水・食料等の供給不足
		2-5 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルート途絶による医療機能の麻痺
		2-6 被災地における疫病・感染症等の大規模発生
3	大規模自然災害発生直後から必要不可欠な行政機能は確保する	3-1 矯正施設からの被収容者の逃亡、被災による現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化
		3-2 信号機の全面停止等による重大交通事故の多発
		3-3 首都圏での中央官庁機能等の機能不全
		3-4 市の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下
4	大規模自然災害発生直後から必要不可欠な情報通信機能は確保する	4-1 電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止
		4-2 郵便事業の長期停止による種々の重要な郵便物が送達できない事態
		4-3 テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態

事前に備えるべき目標		千葉市リスクシナリオ案 (網掛け部分は新たに追加するリスクシナリオです)	修正理由
1	直接死を最大限防ぐ	1-1 住宅・建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生	火災についての記述は1-2に移動。新1-1は倒壊についてのみ記載
		1-2 密集市街地や不特定多数が集まる施設における大規模火災による多数の死傷者の発生	倒壊についての記述は1-1に移動
		1-3 広域にわたる大規模津波等による多数の死傷者の発生	
		1-4 突発的又は広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生	近年増加しているゲリラ豪雨を反映させるため、「突発的」という文言を追加
		1-5 大規模な土砂災害等による多数の死傷者の発生	事前に備えるべき目標が「直接死」に変更したため、対象をより明確化
2	救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する。	2-1 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の長期停止	令和元年台風の被害により、電力などエネルギーの重要性を認識したため「電力」・「エネルギー」といった言葉を追加・旧2-3を包含
		2-2 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	
		2-3 想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者の発生、混乱	帰宅困難者が大量発生した時、飲食料だけでなく、待機場所等の不足により混乱が生じる場合もあるため追加
		2-4 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルート途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺	令和元年台風の被害によりエネルギーの重要性を認識したため、「エネルギー」を追加・旧2-3を包含
		2-5 被災地における疫病・感染症等の大規模発生	
3	必要不可欠な行政機能は確保する	3-1 矯正施設からの被収容者の逃亡、被災による警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱	熊本地震と、令和元年台風等の知見を得て、避難施設環境の重要性を認識したため、市として発生するリスクと判断
		3-2 市の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	
4	必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する	4-1 防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・長期停止	通常の通信インフラではなく、災害時に特に必要な通信インフラの整備に注力するため、修正
		4-2 テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態	
		4-3 災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態	旧1-6から事前に備えるべき目標の変更に伴い移動。「災害時に活用する」という文言を追加することで、どの情報サービスかより明確にする



5	大規模自然災害発生後であっても、経済活動（サプライチェーンを含む）を機能不全に陥らせない	5-1	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下
		5-2	社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止
		5-3	コンビナート・重要な産業施設の損壊、火災、爆発等
		5-4	海上輸送の機能停止による海外貿易への甚大な影響
		5-5	基幹的陸上海上交通ネットワークの機能停止
		5-6	食料等の安定供給の停滞
		5-7	金融サービス等の機能停止により商取引に甚大な影響が発生する事態
6	大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要最低限の電気、ガス、上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る	6-1	電力供給ネットワーク（発電所、送配電設備）や石油・LPガスサプライチェーンの機能の停止
		6-2	上水道等の長期間にわたる供給停止
		6-3	污水处理施設等の長期間にわたる機能停止
		6-4	地域交通ネットワークが分断する事態
		6-5	異常渇水等により用水の供給の途絶
7	制御不能な二次災害を発生させない	7-1	市街地での大規模火災の発生
		7-2	海上・臨海部の広域複合災害の発生
		7-3	沿線・沿道の建物倒壊による直接的な被害及び交通麻痺
		7-4	防災施設、排水ポンプ等の損壊・機能不全による二次災害の発生
		7-5	有害物質の大規模拡散・流出
		7-6	農地・森林等の荒廃による被害の拡大
		7-7	風評被害等による経済等への甚大な影響



5	経済活動を機能不全に陥らせない	5-1	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下	
		5-2	エネルギー供給の停止による、社会経済活動・サプライチェーンの維持への甚大な影響	令和元年台風の被害により、電力などエネルギーの重要性を認識したため、エネルギーという言葉を最初に移動
		5-3	コンビナート・重要な産業施設の損壊、火災、爆発等	
		5-4	基幹的陸上海上交通ネットワークの機能停止による物流・人流への甚大な影響（基幹的陸上海上交通ネットワークの機能停止）	基幹的陸上海上交通ネットワークの機能停止により、何が起こるかをより分かりやすく記載
		5-6	食料等の安定供給の停滞	
		5-5	金融サービス等の機能停止による市民生活・商取引等への甚大な影響	商業上の取引だけでなく、市民の実生活への影響が大きいと考えるため追記
6	ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる	5-7	異常渇水等による用水供給途絶に伴う、生産活動への甚大な影響	生産活動≒経済活動と捉えることができるため、6-5から移動。
		6-1	電力供給ネットワーク（発電所、送配電設備）や都市ガス供給、石油・LPガスサプライチェーン等の長期間にわたる機能の停止	都市ガスを追記
		6-2	上水道等の長期間にわたる供給停止	
		6-3	污水处理施設等の長期間にわたる機能停止	
		6-4	基幹的交通から地域交通網まで、交通インフラの長期間にわたる機能停止	旧8-4と旧6-4を統合。
7	制御不能な複合災害・二次災害を発生させない			
		6-5	防災インフラの長期間にわたる機能不全	令和元年台風の被害により、電力などエネルギーの重要性を認識したため、追加
		7-1	地震に伴う市街地の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生	
		7-2	海上・臨海部の広域複合災害の発生	
		7-3	沿線・沿道の建物倒壊に伴う閉塞、地下構造物の倒壊等に伴う陥没による交通麻痺	
		7-4	防災施設、排水ポンプ等の損壊・機能不全による二次災害の発生	
		7-5	有害物質の大規模拡散・流出による地域の荒廃	
		7-6	農地・森林等の被害による地域の荒廃	

現行6-5から移動

ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

現行6-4・8-4を包含

新

8	大規模自然災害発生後であっても、地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する	8-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態	社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	8	8-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事	
		8-2	道路啓開等の復旧・復興を担う人材等（専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等）の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態			8-2	復興を 支える 人材等（専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等）の不足により、 より良い復興に向けたビジョンの欠如等により復興できなくなる事態	千葉市として災害前より、よりよい姿で復興することを示すために文言を修正
		8-3	地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態			8-4	貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・損失	従前より良い姿での復興は、コミュニティだけでなく、様々な文化が在るからこそ成り立つので、様々な文化の消失は発生してはならないため追記
		8-4	緊急輸送道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態					
						新8-5	事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復旧・復興が大幅に遅れる事態	現計画では、仮設住宅等のリスクの記載がなく、市が復興するにあたり、仮設住居棟の整備が遅れると復興速度が遅くなるリスクがあると考えたため、追加
						8-6	風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による経済等への甚大な影響	旧7-7から移動
		8-5	広域地盤沈下等による広域・長期にわたる浸水被害の発生により復旧・復興が大幅に遅れる事態	現行7-7から移動		8-3	広域地盤沈下等による広域・長期にわたる浸水被害の発生により復興が大幅に遅れる事態	

① 現行のリスクシナリオを統廃合したもの（網掛けのリスクシナリオは、新リスクシナリオに包含したため削除）

現行のリスクシナリオ			新リスクシナリオ		
2-1	被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	➡	2-1	被災地での食料・飲料水・ 電力・燃料 等、生命に関わる物資・ エネルギー 供給の長期停止	
2-3	救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶				
2-5	医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺		2-4	医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、 エネルギー供給の途絶 による医療機能の麻痺	
個数	3		個数	2	
1-6	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生	➡	4-3	災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態	
4-2	郵便事業の長期停止による種々の重要な郵便物が送達できない事態		個数	1	
個数	2				
6-4	地域交通ネットワークが分断する事態	➡	6-4	基幹的交通から地域交通網まで、交通インフラの長期間にわたる機能停止	
8-4	緊急輸送道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態		個数	1	
個数	2				

② 新しく追加したリスクシナリオ

新リスクシナリオ	
2-6	劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生
6-5	防災インフラの長期間にわたる機能不全
8-5	事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復旧・復興が大幅に遅れる事態